

竜の眼

編集方針

- ① 会員の自由かつ達な意見交換の場
- ② オンブズマン活動の発展に貢献
- ③ おもしろく、分かりやすく、役に立つ

第27号 2014.10.29発行
 仙台市民オンブズマン・タイアップグループ
 仙台市青葉区中央4-3-28朝市ビル3F
 宮城地域自治研究所内
 TEL022(227)9900 FAX022(227)3267
 http://sendai-ombuds.net/
 e-mail:s-ombuds@nifty.com



仙台市野草園「白花杜鵑(シロバナホトトギス)」 撮影：三塚芳徳

家族も友人も誘い合って
 満席(384席)をめざしましょう

もうすぐです。

支援企画まであと2週間

チケット販売数 10/29現在107枚

11月14日(金) 18:00 開場
 18:30 開演

宮城野区文化センター
 コンサートホール
 (パトナホール)

会場は
 こんな感じ
 です



馬頭琴&ピアノと 落語が織りなす神楽月

落語

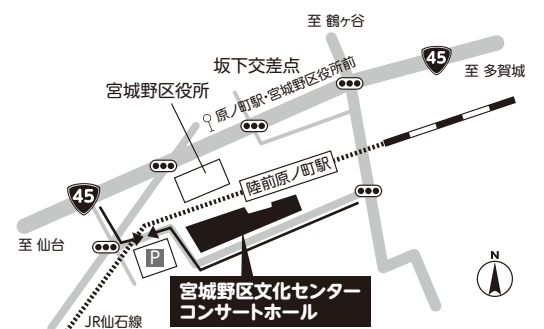
六華亭遊花



バヤラトと
 稲垣さんの曲目です

- ・万馬のとどろき
- ・お茶碗の踊り
- ・四季
- ・草原情歌
- ・スーホの白い馬
- ・荒城の月
- ・英雄
- ・遥かなるセレンガ河

会場MAPとJRのご案内



※JR仙石線陸前原ノ町駅より徒歩1分
 ※駐車場の台数が限られておりますので、
 できるだけ公共機関をご利用ください。

JR仙石線時刻表

	下り			
あおば通	17:38	17:47	18:07	18:15
仙 台	17:40	17:49	18:09	18:17
陸前原ノ町	17:44	17:53	18:14	18:21
	上り			
陸前原ノ町	20:19	20:32	20:44	20:53
仙 台	20:25	20:37	20:49	20:58
あおば通	20:27	20:39	20:51	21:00

(8月1日現在)

第21回 全国市民オンブズマン全国大会



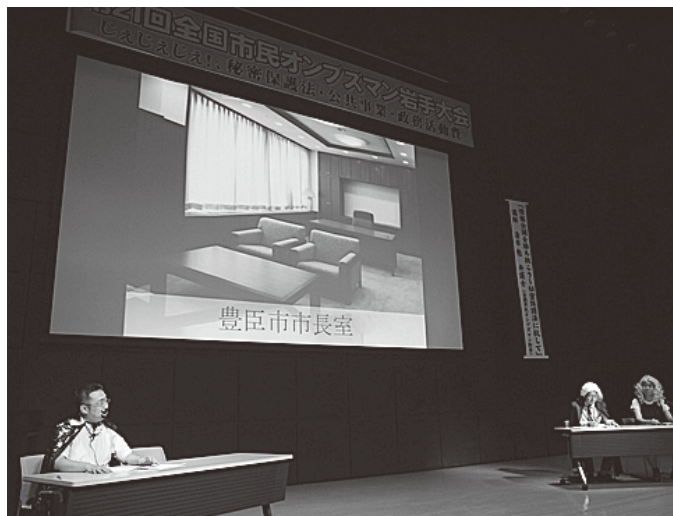
..... 岩手大会

9月6日～7日の2日間、岩手県盛岡市の駅前アイーナと岩手大学を会場に160名が参加して、21回目となる全国市民オンブズマン全国大会が開催されました。一日目は全体会と懇親会、二日目は4つの分科会がおこなわれ、大会宣言を採択して終了しました。

— 昨年の弘前につづき東北での開催となりました。仙台には隣県ということと一日目受付要員の要請があり、タイアップメンバー7名が受付を手伝いながら参加しました。全国大会の詳細は12月発行の「オンブズマン会報」に報告があると思いますので、『竜の眼』ではタイアップの参加者の感想を報告します。

魅力的な街・盛岡

津田 正敏



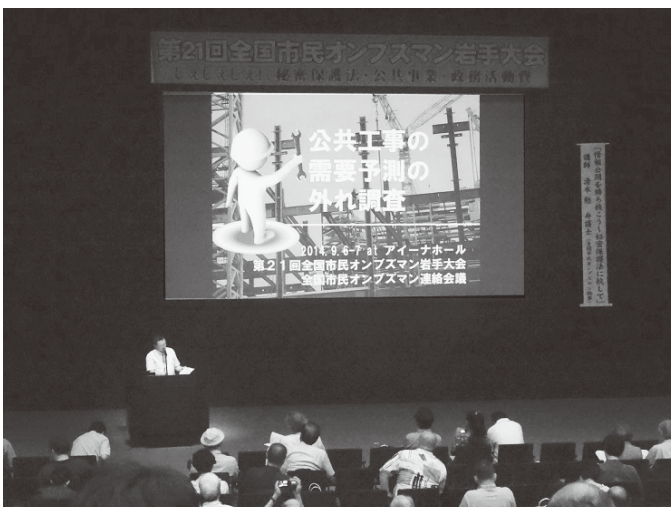
弘前、京都そして盛岡と3年続けて全国大会に参加することができた。盛岡は落ち着いた街である。市内を流れる北上川、中津川の橋の上を歩いていると、ゆったりと泳いで鮭が遡上してくるのは、つい水面に目をやってみると、心を和ませてくれる川のある街である。

1日目の全体会は、基調報告に続いて「公共事業」「政務活動費」「情報公開訴訟」、清水勉氏の講演、「地方自治法改正寸劇」「ギャンブル問題」「落札率・電力購入売却」「地元岩手報告」「包括外部監査の通信簿・表彰」、そして夕方からの懇親会があった。とにかく慌ただしく進化した。それだけ各地域での問題が山積しているのだろうと思えた。

2日目の分科会は、「秘密保護法」「政務活動費」「地方自治法改正」「ギャンブル問題」の4つがあった。私は前日の「ギャンブル問題」の発表に衝撃を受け、この分科会に参加しました。依存症に苦しんだ人の体験談から始まり、依存症の実際に担当している医師の方から、韓国の実態、秋田イーストベガス構想等これか



らの危険な弊害を予兆させられる報告でした。もうすでに全国に536万人のギャンブル依存症があり、秋田市ではイーストベガスと称して「東洋のラスベガス」誘致を目論んでいるという。後日、仙台市で開かれたシンポジウムでフリーライターの古川美穂氏いわく「日本はすでにギャンブル大国」になっているという。また10月21日付け朝日新聞のオピニオンの欄に内田樹氏は「福島原発事故対策、震災復興、沖繩の基地問題の解決の方がはるかに優先順位の高い国民的課題でしょう。厳しい現実から目を背け、



なぜ、金儲けの話ばかりするのか」と述べていた。まったく同感である。そして、現政府の「第三の矢」は民間投資を喚起する成長戦略だと言われています。正にカジノである。

夕べの懇親会では、神戸出身で京都で活動している清楚な若手女性弁護士と話が弾んだ。彼女は中学・高校時代は盛岡に住んでいたという。「盛岡はとつても心に残っている街なんです。思い出がいっぱいあり、盛岡は大好きなんです」と快活に話していた。翌日、学生時代の友人と杯を交わし、南部鉄器を土産に帰仙しました。

政務活動費は

外部監査へ

上原 仁

本年の全国大会の政務活動費問題は、やはり兵庫県議野々村議員問題で始まり各都道府県議員の現在の調査報告を聞き残念ながら、各地方議員とも政務活動費を歳費の一部の様に考えている議員が多い様に感じた。

それに「政務調査費」が「政務活動費」に変更され「調査研究に資する為」が「調査研究その他の活動費に資する為」と変わった事で、今迄より使用範囲が拡大されたと考え、議員が増加している様に思えた。この様に考える議員をなくすためには政務活動費の使用を定める条例を作り、議員が使用した件については、領収書は支払先及び受取人名を明白に残したうえで、住民の閲覧要求がある場合は、何時でも閲覧を可能にしていける必要があります。それに内部監査という制度がありますが、今は監査は外部の第三者機関でおこなうべきです。

もとより議員は政務活動費は、公金である事を考え、自分が使用した活動費による提言がどの様に行政に反映されているかもチェックすべきです。市民も議員の活動を監視して行く必要もあります。また政務活動費は現在定期定額支給になっていますが、この交付方法も再検討すべきと考えます。

驚きとため息!!
生の議会を
ウォッチ！

議会ウォッチャー・仙台

仙台市議会傍聴をとおして、議会を変える活動を行っています。一度体験してみたいという方も大歓迎。ぜひご参加ください。
お問い合わせは事務局まで。



判決を聞きましょう!

仙台市議会政務調査費判決
(平成20年度)

11月27日(木) 午後1時10分
仙台地裁

【次回例会のご案内】

偶数月の第一火曜日
宮城地域自治研究所

(朝市ビル3階)

▼次回は12月2日(火)です

賑やかに過ごしたいと思えます。ふるって御参加ください。若干のお飲物などご用意しますが、持ち込みは大歓迎です。